

次期可燃ごみ施設整備室だより

第4号
平成30年3月

発行／出雲市経済環境部 環境施設課 次期可燃ごみ施設整備室

〒693-8530 出雲市今市町70

☎0853-21-6886 FAX 0853-21-6597



環境影響評価（環境アセスメント）準備書を作成しました。

次期可燃ごみ処理施設の整備に伴う環境への影響を評価するため、平成28年度から県が組織する有識者による審査を受け、建設地周辺への配慮事項を検討し、住民説明会等をふまえて、予測・評価のための調査方法について、方法書で整理しました。

準備書とは、この方法書に基づいて、大気質、騒音、振動、悪臭、水質、動植物、景観等の現況調査の結果をふまえ、事業(工事の実施や施設の供用)による環境への影響を予測・評価し、検討した環境保全対策等を取りまとめたものです。

この準備書について、1/5から2/5までの期間、縦覧しました。また1/21には準備書説明会を開催し、広く意見を聴取したところです。

本号では、準備書に記載している現地調査の結果や環境への影響の予測・評価の内容についてお知らせします。



準備書説明会（古志コミュニティセンター）

調査、予測・評価について

「工事の実施」と「施設の供用」の観点から調査、予測・評価を実施しました。主な項目の調査、予測・評価の結果を次に示します。

◆大気質

【目的】 工事中は、建設機械の稼働や工事用車両の走行に伴う粉じん、排ガスの影響、施設供用後は、煙突排ガスの排出に伴う大気環境への影響等を予測するため。

【調査方法】 建設地で通年（四季）及び周辺の上新宮(古志町)、桜・殿森(所原町)、乙立町の各地点で四季の大気質濃度測定を実施。

【予測・評価】 次の項目の予測を行った。

〔工事中〕 建設機械の稼働、資材等運搬車両による「粉じん」の影響

〔工事中・供用後〕 車両からの「排ガス」の影響

〔供用後〕 煙突からの「排ガス」の影響

その結果、いずれの項目も環境保全目標値以下（※）になった。また、環境保全措置として、工事中は散水の実施、機械の集中稼働を避けることなどで粉じんを抑え、施設供用後は、最新の排ガス処理設備を採用するなど、大気汚染物質の排出抑制に努めることで、大気質の影響は、回避または低減が図られると評価した。



※各項目の環境保全目標値は、法令等で定められている基準値を参考に、施設規模や立地条件等をふまえて評価項目ごとに住民等への影響が出ないような基準を定めた目標値です。

◆騒音・振動

【目的】 工事中の建設機械の稼働や工事用車両の走行、施設供用後の機械の稼働、ごみ収集車等の走行による騒音・振動の影響を予測するため。

【調査方法】 建設地の周辺や道路沿道(市道新宮大谷線、市道古志104号線、市道古志82号線)で騒音、振動、交通量等の調査を実施。

【予測・評価】 建設機械・施設の稼働、車両の走行が与える騒音・振動の影響は、環境保全目標値以下になる結果となった。さらに、運転手の教育・指導や車両の維持管理の徹底を図るなどの対策を実施することで騒音・振動の影響は、回避または低減が図られると評価した。



◆悪臭

【目的】 施設の稼働による周辺住居地域への悪臭の影響を予測するため。

【調査方法】 建設地の周辺等で調査を実施し、煙突排ガスや施設からの臭気を想定する。

【予測・評価】 煙突排ガスに伴う特定悪臭物質(アンモニア等)濃度については、環境保全目標値以下になると予測した。また、施設からの臭気は、漏えい防止対策(施設の稼働中だけでなく施設休止時にも脱臭装置による脱臭を行うなど)を行うことにより、環境保全目標値以下になると予測した。



◆水質

【目的】 工事中の雨水流出による河川の水の濁りの影響を予測するため。

【調査方法】 建設地の下流河川(新宮川等)の6地点で現況調査を実施した。

【予測・評価】 一部の地点で環境保全目標値を上回るものの、現況でも環境保全目標値を上回るので、現況調査結果の変動範囲内に留まると予測した。なお、施設の供用後においては、生活排水・プラント排水ともに排水処理後に再循環利用等を行うことにより周辺河川等へは放流しないため、水質への影響はない。



◆動物・生態系

【目的】 工事中の建設機械の稼働や雨水の排水、施設の稼働によって動物の生息環境への影響を予測するため。

【調査結果】 島根県版レッドデータブックにある絶滅危惧種等の重要種は、65種が確認された。(サシバ(鳥類)、カスミサンショウウオ(両生類)、ヒメボタル・タガメ(昆虫類)など)。

【予測・評価】 これらの動物に対して、以下の影響があると予測した。

- 工事の濁水による河川等に生息する種(両生類、昆虫类等)への影響
- 土地の改変による止水域に生息する種(両生類、昆虫類)への影響
- 照明の設置による一部の昆虫類への影響

仮設の沈砂池設置による濁水対策や代償環境(ピオトープ)の整備、照明器具への配慮等の保全措置を実施することで影響は低減されると評価した。



◆景観

【目的】施設の存在により、周辺地域からの眺望景観への影響予測するため。

【調査方法】視認可能な3地点(真幸ヶ丘公園展望台、朝山森林公園展望台、中国自然歩道久奈子神社・花の郷周遊モデルコース)で調査を実施。

【予測・評価】眺望点からは景観のごく一部として認識される結果となった。また、圧迫感等の変化も全ての眺望点で極めて小さいと予測した。



真幸ヶ丘公園展望台より（煙突上部が視認される）

◆廃棄物等

- 工事で発生する建設発生土は 375,600 m³ で、その全量を本工事又は隣接採石場の埋め戻し土として有効利用を図る。
- 施設の供用に伴って発生する焼却灰(年間 4,910 t 想定)は、排出基準を遵守し、神西一般廃棄物埋立処分場に搬入し、適正に処分を行う。



◆温室効果ガス

次期施設から排出される温室効果ガス(二酸化炭素)は、現施設(出雲I社[®] - センター-)に比べて減少し、年間の排出量は、**13,053 tCO₂**と予測した。

事後調査について

【動物、生態系】

貴重な動物、生態系を守るための環境保全措置として生息域の代わりになる環境(人工池：ピオトープ)を整えます。そして、貴重な動物の生息状態を確認するために工事中及び供用後にも調査を実施していきます。

【大気質、悪臭、騒音、振動】

施設供用後の影響についても、自主的な環境監視調査として、敷地境界や煙突において硫黄酸化物・ダイオキシン類等の調査や、悪臭、騒音、振動の測定を継続的に実施し、施設の運転状況を監視していきます。



なお、その他の調査項目や調査地点等については、地域住民の方々の意見もお聞きしながら検討していきます。

まとめ

環境影響評価の結果は、それぞれの環境要素への対策を適正に実施することにより環境に与える影響は回避または低減できると評価しました。また、今回の予測条件は、複数のプラントメーカー等から提示された資料をふまえて、各項目で、負荷が大きめの条件を想定して設定したものであるため、実際に影響が大きく出る可能性は低いと考えています。

しかし、市民の皆さんに安心していただけるように、準備書に対していただいた住民意見や知事意見をふまえて、工事中・施設供用後のそれぞれにおいて、環境保全措置を実施することで、環境に与える影響をできる限り減らしていきます。

また、施設の運転状況(排ガス濃度の情報等)を公開するなどの情報公開に努めていきます。

【お知らせ】市道古志82号線の拡幅工事について

敷地造成工事や施設建築工事等大型工事車両が通行できるように、次のとおり市道古志82号線の部分的な拡幅工事を実施します。工事中は、交通誘導員の配置や河川の汚濁防止対策を実施していきます。夜間や日曜日、祝日に工事を実施する際は市道古志82号線の全面通行止めを行う場合があります。その際は、事前に地元関係者へ連絡しますので、何卒ご理解ご協力のほどよろしくお願いいたします。

【工事期間】平成30年3月初旬～平成30年9月1日

【工事場所】市道古志82号線（出雲市古志町地内）

【施工業者】・株山興（TEL 0853-28-0338）

・今岡工業(株)（TEL 0853-23-7778）

※A・C箇所＝山興、B・D箇所＝今岡工業



スマートフォンで使えるごみ出しおたすけアプリを配信しています！

さんあ～る

「ごみの分別方法に悩んだり、収集日を忘れることはありませんか？」

ごみ出しおたすけアプリ「さんあ～る」は、分別方法を手軽に検索したり、ごみの収集日をお知らせする機能がついたアプリです。ぜひ、ご利用ください。

★収集日カレンダー

...お住まいの地域を設定すると
収集カレンダーが表示されます。

★アラート機能(出し忘れ防止機能)

...収集日の前日や当日に
収集をアラームでお知らせします。

★ごみ分別検索(これって何ごみ?)

...品目名からごみの分別区分を検索
できます。



「さんあ～る」の入手方法 ※iPhone や Android のスマートフォンが必要です。

アプリのインストール



・QRコードからもダウンロード可能



「さんあ～る」で検索して
ダウンロード

・アプリの利用料は無料
・ただし、通信料は必要